

別紙様式 1

平成 23 年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立佐那河内いきものふれあいの里	施設所在地	名東郡佐那河内村下字中辺 7 1 番地 1
指定管理者名	佐那河内村	指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日
施設所管課	自然環境室	【連絡先】	088-621-2330

1 施設の概要

設置年月日	平成4年7月21日
設置目的	身近な自然の中での野鳥その他の小動物及び植物の観察を通じて自然への理解を深め、もって自然保護思想の普及に資する
施設内容	ネイチャーセンター、キャンプ場他
利用料金等	無料（テントサイト、バンガロー、用具を使用する場合は有料）
開館日・休館日等	休館日 毎週月曜日（月曜日が休館の場合は翌日）と年末年始（12/28～1/4）

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	1 いきものふれあいの里の設置の目的を達成するために行うものとして、徳島県立佐那河内いきものふれあいの里の設置及び管理に関する条例で定める業務 2 いきものふれあいの里の施設、物品等の維持管理（知事が指定する補修等を除く）に関する業務 3 レクチャールーム等の利用の許可に関する業務 4 テントサイト等の使用料の徴収に関する業務 5 その他いきものふれあいの里の管理に関し知事が必要と認める業務
------------	---

3 施設の管理体制

管理体制	正職員 名	臨時職員 名	計 名
	総括責任者（佐那河内村 産業建設課長） 1 名 いきものふれあいの里担当者（佐那河内村 産業建設課） 1 名 いきものふれあいの里運営管理責任者（ネイチャーセンター長・自然観察指導員） 1 名 自然観察指導員 2 名、事務・庶務業務 1 名、施設維持管理員 3 名		

4 施設の利用状況

利用者数 （人）		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
	23 年度	410	672	422	1055	850	389	387	295	92	103	122	179	4,976
	前年度	492	1034	467	885	989	639	480	189	149	114	112	122	5,672
	前々年度	877	988	804	1207	938	658	588	258	167	162	123	198	6,968

月別利用 料金収入 （千円）		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
	23 年度	17	68	37	198	314	55	0	0	0	0	0	0	689
	前年度	0	112	12	133	497	140	0	0	0	0	0	0	894
	前々年度	0	141	47	196	313	145	0	0	0	0	0	0	842

施設毎 利用料金収入 （千円）		キャンプ場							計
	23 年度	689							689
	前年度	894							894
	前々年度	842							842

5 収支の状況

(単位：千円)

項 目		平成23年度	平成22年度（前年度）	平成21年度（前々年度）
収入	指定管理料	20,517	20,517	20,517
	利用料金収入			
	事業収入			
	その他	267	274	597
	計	20,784	20,791	21,114
支出	人件費	14,602	14,080	14,146
	管理運営費	6,182	6,711	6,968
	事業費			
	その他			
	計	20,784	20,791	21,114
収支		0	0	0

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	○水道・電気・ガスの使用量やプラスチック類、コピー用紙等の消耗品の量を削減していく環境目標を作成 ○施設の草刈りや補修等にボランティアを募集し、維持管理費を抑制する
サービス向上の取組	○基本となるサービス向上 ・中高年層の利用者増加に伴う、ホスピタリティのあるサービスの提供 ・拠点施設であるネイチャーセンターにおける丁寧なカウンターサービスと的確な情報提供 ・いきものふれあいの里友の会の充実 ○大川原高原の村営施設との複合利用による新たなサービスの提供 ・村営施設を休憩場所や講座スペースとして活用 ・村内外の地域活動団体やNPOとの連携による自然観察会などのプログラムの充実

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	○キャンプ場祭りの開催 ○ボランティアによる参加者を集めて施設の補修や清掃、植樹活動などの事業の実施 ○野鳥のテグス被害を防止するためのクリーンホリデーの実施 ○出張観察会の開催
----------	--

8 管理運營業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	○アンケート調査等を実施し、利用者ニーズの把握が行われていた。 ○インターネットやパンフレット等を活用した情報発信が行われていた。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	○事業計画書に基づき、自主事業が適正に行われていた。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	○年間作業計画書に基づき、適正な維持管理が行われていた。 ○備品等は適正に管理が行われていた。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	○施設の草刈りや、簡素な補修等にボランティアを募集し、維持管理費の削減に努めている。
⑤管理運営体制等 ・管理運營業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	○運営管理業務体制に基づき、適正に業務が行われていた。 ○利用料金の徴収は減免処理も含め、適正に行われていた。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	○職員の労働条件について、事業計画書に記載した内容どおり確保されていた。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	○地元雇用を基本としているが、自然観察指導員等専門的分野の知識が必要な人材は、県内で幅広く雇用している。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	○地元の住民活動団体や企業と連携し、業務が行われていた。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	○緊急連絡体制等が整備され、職員への周知が適正に行われていた。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	○環境パトロールを地元団体と連携して行い、自然環境保全に努めている。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	○情報公開条例・施行規則を設け、適正に対応が行われていた。
総合評価	A	○協定書、事業計画書等に基づき、適切に管理運営業務が行われていた。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A：概ね協定書の内容とおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

○平成4年に施設が設置されたが、ネイチャーセンター等の施設が老朽化しており、計画的に維持修繕を行うことが必要である。